

領域プロジェクト名称	価値創成モデルに基づいたサービス構造の類型化
担当教員	西野成昭
プロジェクトの狙い	近年、サービス科学/工学の分野で盛んに研究が行われており、サービスに対して科学的/工学的見地からアプローチする取り組みがなされている。しかし、現在はまだ個別的視点のものが多く、それらを体系的に説明する枠組みや体系化が出来ているとは言い難い。そのような背景をもとに、本プロジェクトでは現実の種々のサービスに対して、実態調査やアンケートを通じて、その構造を類型化することを目的とする。サービス類型化は、将来的には当該分野の基礎的枠組みや理論構築へ繋がるものであり、社会的意義も高いものである。
プロジェクトの内容	実社会で展開されているサービスの事例を調査し、そのビジネス形態や関連する実データの分析、または関係者へのアンケートの実施などを通じて、サービスの本質的な構造を明らかにする。その背景となる考え方が上田ら(2008)によって提唱されている価値創成モデルである。小売業を対象とした類型化は、すでに研究室内の成果として得られており、本プロジェクトではそれ以外の業種に対して適用する。 また、本プロジェクトは JST RISTEX「問題解決型サービス科学研究開発プログラム」の研究プロジェクトの一部として進める。
プロジェクト開催場所	工学部 3 号館
プロジェクト計画	4 月 <ul style="list-style-type: none"> ・ 文献調査 ・ サービス科学/工学に関する基礎的学習 ・ 手法等に関する基礎知識の獲得 5 月 <ul style="list-style-type: none"> ・ 実サービスの調査/実データ収集 ・ アンケートの実施 6 月 <ul style="list-style-type: none"> ・ 収集データとアンケート結果の分析 ・ サービス構造の類型化 ・ 発表及びレポート提出
ウェブサイト	